

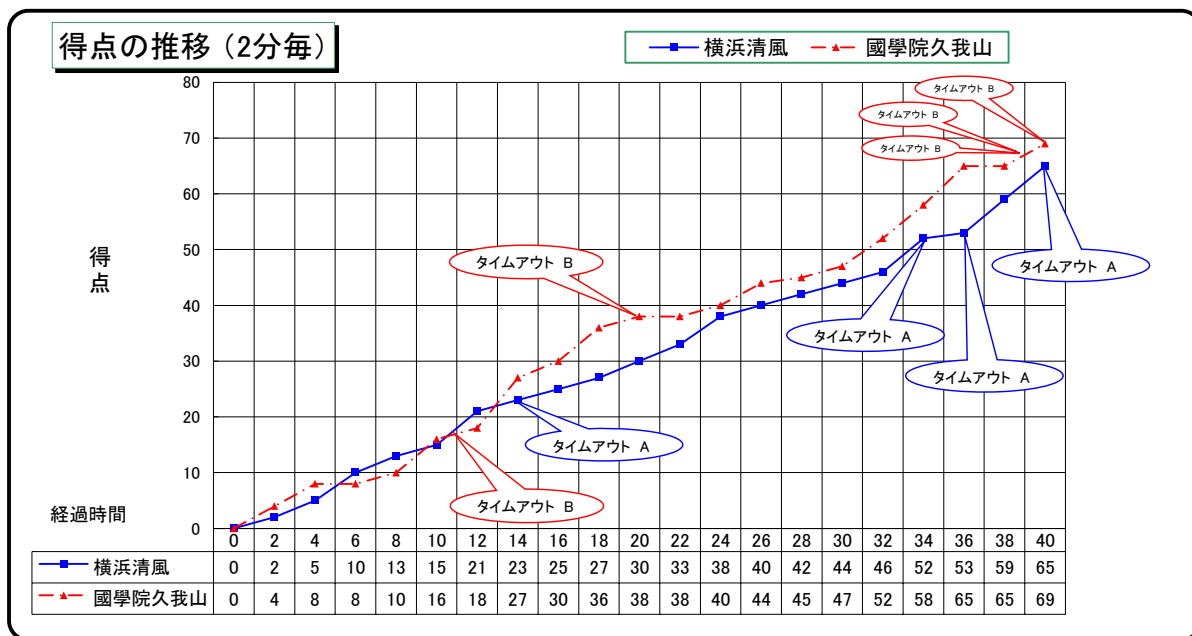
平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会 ＜1回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Dコート	第1試合 9:00～													
<チームA> 横浜清風 神奈川		65 { <table border="0"> <tr><td>15</td><td>1Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>15</td><td>2Q</td><td>22</td></tr> <tr><td>14</td><td>3Q</td><td>9</td></tr> <tr><td>21</td><td>4Q</td><td>22</td></tr> </table> } 69		15	1Q	16	15	2Q	22	14	3Q	9	21	4Q	22	<チームB> 國學院久我山 東京	
15	1Q	16															
15	2Q	22															
14	3Q	9															
21	4Q	22															
主審: 荒井 秀行(茨城) 副審: 根本 優(茨城)																	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	加藤 智也	14		6	2	4
◎	5	西尾 俊太	10	2	2		
◎	6	小林 開	5		2	1	5
◎	7	尾形 界龍	26	1	11	1	4
◎	8	須田 龍星	2		1		
○	9	柳川 和輝	2		1		3
○	10	小林 凌太	6		3		1
	11	山部 大成					
	12	佐藤 優樹					
	13	松本 海悟					
○	14	菊川 恭佑					1
	15	中野 晃					
	16	佐藤 浩司					
	17	宮井 仁人					
	18	陣内 翔吏					
		コーチ 三宅 学					
合計			65	3	26	4	18

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	木本 秀治					1
◎	5	三田 裕介	4	1		1	2
◎	6	永久保 侑祐	11	2	2	1	2
○	7	成田 悠					
◎	8	ウイタカ ケンタ	16		7	2	3
◎	9	野山 翔	12	2	3		1
○	10	町田 勇輔	2		1		
○	11	渡邊 怜	20	4	3	2	
	12	笠間 凱					
○	13	神山 瞬汰					
	14	出光 歩					
	15	三上 朋哉					
	16	合田 樹					
	17	島原 大智					
○	18	戸堀 春輝	4		2		2
		コーチ 酒井 良幸					
合計			69	9	18	6	11

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 中村 洋蔵

第1P、横浜清風(以下清風)、國學院大學久我山(久我山)はともにマンツーマンディフェンスで試合スタート。序盤久我山が⑧ウイタカのインサイドを中心に攻め得点を重ねる。清風は、速攻や、速いバス回しからのアウトサイドシュートで得点し、4分経過時で5対8と後を追う。久我山は、選手交代をしながらインサイドの攻撃を作るが、清風が激しいディフェンスで阻止する。その間に、清風⑦尾形の3pで同点にし、⑤西尾のドライブインで第1P中盤で逆転に成功。しかし、久我山は第1P終盤の連続3pが決まり16対15で久我山リードで第1P終了。

第2P、リードを許した清風は、⑤西尾の連続スティールから速攻を重ねいきなりの逆転。久我山はたまたまタイムアウト。久我山はタイムアウト後、オフェンスを修正し、ディレイドオフェンスから⑧ウイタカのポストプレイを活かした⑤三田、⑥永久保、⑪渡邊が続ける3pで逆転。27対25で清風タイムアウトを取るが、その後も久我山⑪渡邊が大切なところで得点し、流れを渡さず38対33久我山リードで第2P終了。

第3P、清風が速い展開から⑤西尾の3pなどで得点を重ね同点にする。久我山は、⑧ウイタカを交代で下げると、清風④加藤がインサイドで活躍し、お互い譲らず47対44久我山リードで第3P終了。

第4P、清風は、インサイドを担っていた④加藤がファウルトラブルで下がる。流れが久我山に傾くかと思われたが、清風⑦尾形の気迫の連続得点で3点差から5点差で緊迫状態が続く。流れを変えたのは久我山⑪渡邊の3p。そこで清風がタイムアウトを取り、清風はプレスディフェンスを仕掛ける。しかし久我山は⑪渡邊と⑧ウイタカが外と中で交互に得点し、11点差。再び清流はタイムアウトからプレスを仕掛け追い上げるも、久我山は落ち着いてセットプレーやタイムアウトを使いそのまま逃げ切って65対69で勝利。残り数秒まで逆転の気配を感じる迫力ある試合だった。